



今日のテーマ

米国企業の業績

Q 米国主要企業の4-6月期決算の見通しは？

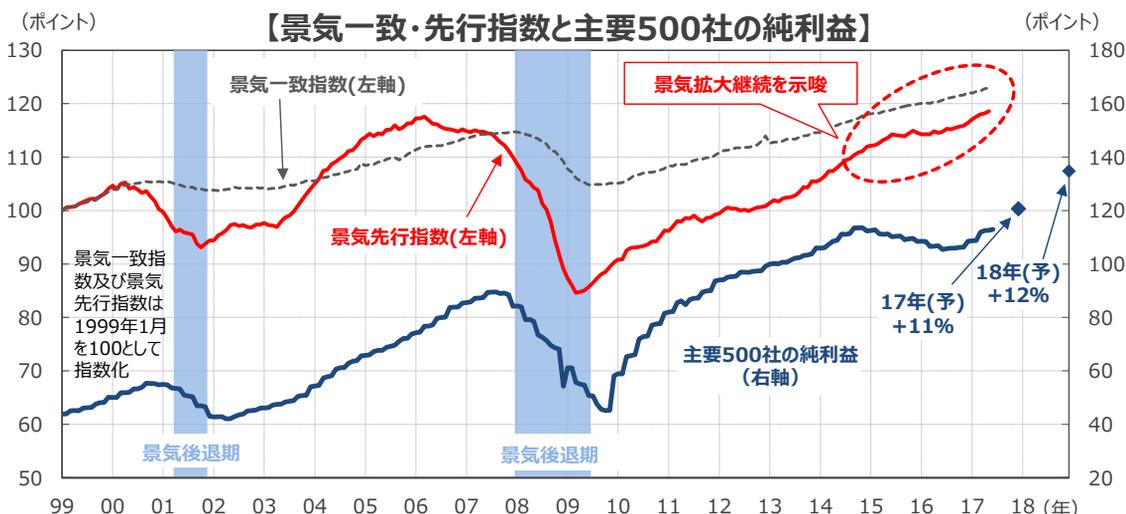
A 高い増益率が予想される情報技術セクターに注目です。同セクターの業績好調が維持されれば米国株式市場にとってプラス要因です。

- S&P500種採用企業の2017年4-6月期決算発表が始まります。7月11日付トムソン・ロイターの発表によれば、前年同期比は+7.9%の増益と好調を維持する見通しです。
- 業種別に見ると、エネルギーセクターが前年同期の反動から大幅な増益率となる見込みです。さらに、情報技術セクターの動向も注目されそうです。情報技術セクターは1-3月期が同+19.8%と金融（同+19.9%）と同水準の増益率でした。今回は金融が同+7.3%と堅調に推移すると予想されますが、情報技術セクターは同+11.2%と高い増益率となる見通しです。情報技術セクターの業績好調が引き続き維持されれば、米国株式市場にとってプラス要因となりそうです。

【2017年4-6月期業種別増益率】



(出所) 7月11日付トムソン・ロイターの資料を基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは景気一致指数と景気先行指数が1999年1月～2017年5月。純利益は2017年6月まで。純利益はS&P500指数ベースの直近12カ月の1株当たり利益。2017年、18年の純利益及び前年比伸び率はトムソン・ロイターI/B/E/Sによる予想。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。